

## P 37

### スクアランオイルを用いた乳頭・乳輪 マッサージによる母乳授乳率の改善効 果について

恵寿総合病院 ○小濱 隆文、前浜 静香

【目的】産後の初回授乳時よりスクアランオイル（スクアラン美容オイル、ハーバー株式会社）を用いた乳頭・乳輪マッサージを行い、その後の母乳授乳率の改善効果を観察・検討した。

【方法】当院で出産した323名の妊婦に対し、産後第一日目から五日目までスクアランオイルを用いた乳頭・乳輪マッサージを一回/日行い（S群）、産後七日目および一ヵ月後の母乳率、授乳状態（直母乳、搾乳母乳）を観察した。対象群（C群）は、平成12年度の当院出産者414名を用い、比較、検討した。

【結果】S群における七日目および一ヵ月後の母乳授乳率は、293例（内、直母乳223例）/323例（91%、直母乳率63%）および143例（130例）/323例（44%、40%）で、C群での206例（142例）/414例（50%、34%）および101例（92例）/414例（24%、22%）に比べ、有意に高かった（Chi-Square： $p < 0.05$ ）。また、スクアランオイルでのマッサージ期間において、スクアランによる副作用と思われる所見は、母児共に認められなかった。

【結論】スクアランを用いた乳頭・乳輪マッサージは母乳授乳率を高め、周産期の授乳管理に極めて有用であると考えられた。